



取扱説明書

FB285BT

Bluetooth® 内蔵SD/MP3レシーバー

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

目次

はじめに

主な特長	4
ご使用の前に	5
安全に正しくお使いいただくために	5
安全上のご注意	6
取扱上のご注意	8
本体のお手入れについて	8
ディスプレイについて	8
表示画面について	8
エラー表示について	8
DCP部の取扱いについて	8
SDメモリーカードについて	8
フリップダウンパネルについて	9
Bluetooth®機器の取扱いについて	9

本機の操作

■各部の名称とはたらき	10
本体部	10
ディスプレイ表示	12
■基本の操作	13
DCPの取り外し/取り付けかた	13
電源を入れる	14
ソースを選ぶ	14
表示を切り換える	15
音量を調節する	15
ポータブルオーディオを聴く(AUX)	15
■ラジオを聴く	16
ラジオを選ぶ	16
受信バンドを切り換える	16
自動選局する(シーク選局)	16
手動選局する(マニュアル選局)	16
プリセット選局する	17
プリセットメモリーする	17
自動メモリーする(オートストア機能)	17
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)	18
■MP3を聴く	19
MP3について	19
SDメモリーカードについて	20
メモリーカードを入れる	21
メモリーカードを取り出す	22
すでに入っているメモリーカードを聴く	23
再生を止める(一時停止)	23
タイトルを表示する	23
曲を選ぶ	24
フォルダを切り換える(フォルダ選択モード)	24
好みの曲を選択する	25

曲の先頭から再生する	25
フォルダの先頭から再生する	25
リピート演奏	26
ランダム演奏	27
リピート・ランダム演奏の優先順序	27
■Bluetooth® 無線技術について	28
携帯電話機とペアリングする	28
外部Bluetooth® オーディオプレーヤー(A2DP対応)とペアリングする	29
Bluetooth®機器を接続する	30
Bluetooth®機器を切断する	30
Bluetooth®機能を設定する	31
■ハンズフリー通話をする	33
プリセット電話番号を登録する	33
電話の着信	34
発信する	35
外部マイクについて	36
ハンズフリーの音量	37
ハンズフリーの音量を調節する	37
■オーディオストリーミングを聴く	38
オーディオストリーミングを再生する	38
曲を選ぶ	39
■設定を変更する(アジャストモード)	40
設定項目の選びかた	40
音質を調整する	41
AUX機能を設定する	41
時計を設定する	42
表示を設定する	43
その他	
故障かな?と思ったら	45
エラー表示について	49
仕 様	50
アフターサービスについて	51

主な特長



■SDスロット搭載

- 本機は、SDメモリーカードでMP3ファイルの再生が可能です。

■Bluetooth®内蔵

- Bluetooth®とは、携帯電話機やパソコンなどのBluetooth®対応機器どうしを無線で通信する技術です。免許を必要としない2.4GHz帯の電波を使用し、機器間の距離が約10m以内であれば利用することができます。

詳細については、次のWebサイトを御覧ください。www.bluetooth.com

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有物であり、クラリオン(株)は許可を受けて使用しています。

■Bluetooth®プロファイルについて

本機は、以下の機能に対応しております。

ハンズフリープロファイル(HFP)

- HFPとは、Bluetooth®対応機器からハンズフリー通話するためのプロファイルです。本機は、このプロファイルを使用して、Bluetooth®対応携帯電話機でのハンズフリー通話が可能となります。

高度音声配信プロファイル(A2DP)

- A2DPとは、Bluetooth®対応機器からステレオ音楽を送信するためのプロファイルです。本機は、このプロファイルを使用して、Bluetooth®対応携帯電話機や携帯音楽プレーヤーでストリーミング形式の音楽を聴くことができます。

音声 / ビデオリモート制御プロファイル (AVRCP)

- AVRCPとは、Bluetooth®対応機器を遠隔操作するためのプロファイルです。本機は、このプロファイルを使用して、再生開始/一時停止/曲送りなどの基本的な操作をすることができます。

■外部入力機能(AUX入力)

- AUX入力端子をリアパネルに装備し、ポータブルオーディオなどを接続することができます。

■フロントパネル

- 高級感あるフロントパネルを採用
- 盗難防止として取り外し可能

■表示部

- 高輝度LCDディスプレイ採用

■最大出力50W×4chハイパワーアンプを内蔵

■ラジオチューナー部

- 聴きたい放送局を、ワンタッチで選局できるISR機能

絵表示について

この『取扱説明書』の表示では、製品を安全に正しくご使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用の前に『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

警告

●走行中、運転者は携帯電話機 本体の操作をしない…



- 安全のため、運転者は走行中に携帯電話機本体の操作はしないでください。
- 運転中は電話をかけないでください。また、運転中に電話がかかってきたときには、必ず安全な場所に車を停車させてから受けてください。どうしても受けなければいけないときは、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に車を停車させてからかけ直してください。

●走行中、運転者は携帯電話機の 接続・取りはずしをしない…



運転者は走行中に携帯電話機と本機の接続、取りはずしをすると前方不注意となり事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させてから操作してください。

●走行中、運転者は携帯電話機 の画面(画像)を注視しない…



前方不注意となり事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させてから操作してください。

●本機を分解したり、改造しな い…



本機の分解、改造等は電波法で禁止されていますので絶対に行わないでください。事故や火災、感電の原因となります。

■医療用電気機器近くでの取扱いについて

警告

●植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から本機を22cm以上離して使用する…



電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

●電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。



電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

■使用上のご注意

⚠ 警告

- 運転者は走行中に操作をしない…
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてからおこなってください。
- 本機を分解したり、改造しない…
事故や火災、感電の原因となります。
- ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する…
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。本機のヒューズ容量については、本機に同梱されている『取付説明書』をご覧ください。

⚠ 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- フリップダウンパネル開閉時、機構部に手や指を入れない…
けがの原因となることがあります。
- 本機を車載用以外には使用しない…
感電やけがの原因となることがあります。
- 電源を切るときは、音量を最小にする…
電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- 音声割れる、歪むなどの異常状態で使用しない…
火災の原因となることがあります。
- 本機の取付場所変更は、安全のため必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口へ依頼する…
専門技術と経験が必要です。

取扱上のご注意

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に付けて軽くふき取り、乾いた布で仕上げてください。



- ・樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障することがあります。
- ・自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

ディスプレイについて

- 本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。
- 直射日光などの関係により、製品に光が反射する恐れがあります。運転の際は十分ご注意ください。

表示画面について

- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

- 本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「**エラー表示について**」の項目(49ページ)を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

DCP部の取扱いについて

- DCP部は精密部品となりますので、DCPを落としたりして、衝撃を与えないでください。また、絶対に水を付けないでください。
- DCP部が汚れたときには、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

SDメモリーカードについて

- SDメモリーカードをイジェクトしたら、必ずSDメモリーカードを取り出してください。SDメモリーカードがイジェクトされた状態で走行すると、走行中の振動により、SDメモリーカードが落下することがあります。
- SDメモリーカードで再生可能なファイルは、MP3です。
- SD規格に準拠したSDメモリーカードをご使用ください。(FAT12 FAT16)
- 使用可能なSDメモリーカードは、32MB～2GBです。
- 本機はSDオーディオには対応しておりません。
- SDHCメモリーカード、MMC(マルチメディアカード)には対応しておりません。
- マイクロSD/mini SDメモリーカードを脱着させる場合は、必ずアダプターと一緒に取り外してください。
- SDメモリーカードをフォーマットする際は、ファイルシステムをFAT32以外でフォーマットしてください。

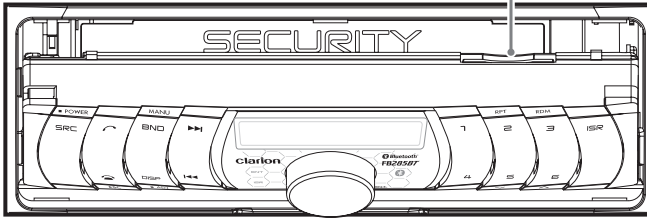
フリップダウンパネルについて

- 本機は、必ずフリップダウンパネルを閉じた状態で使用してください。
- フリップダウンパネルの開閉時に無理な操作や異常な使用をしないでください。
- 操作ボタンや表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形などの故障の原因になります。

ご注意

フリップダウンパネルの開閉時には、指などを挟まないように注意してください。
ケガの原因となることがあります。

メモリーカードスロット



Bluetooth®機器の取扱いについて

- 本機の分解、改造することは、法律により罰せられることがあります。

Bluetooth®機器を使用される前にお読み下さい。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、アマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機能を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局及び、特定小電力無線局、アマチュア無線局 が運用されていないことを確認して下さい。
2. 万一、この機器から移動体識別用構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を移動するか又は、電波の発射を停止し、電波干渉を避けて下さい。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことがおきたときは、次の連絡先へ問い合わせください。

連絡先: クラリオン株式会社

お客様相談室 TEL. 0120-112-140 (フリーダイヤル)

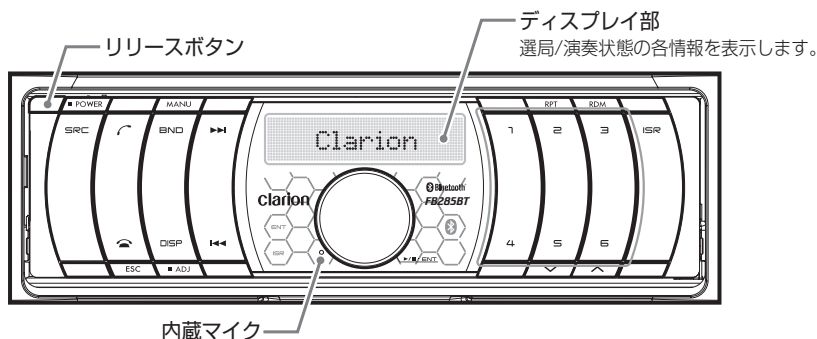
受付時間: 9:00~12:00、13:00~17:30

(土・日・祝祭日を除く)

285-2014-00

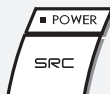
各部の名称とはたらき

本体部



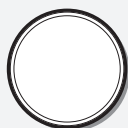
リリースボタン

- ボタンを深く押して、フリップダウンパネルのロックを解除します。



[SRC]ソースボタン

- 電源を入れます。
- 電源を切るときは押し続けます (約1.5秒間)。
- ラジオモード、SDモード、(ブルートゥースモード)、(AUXモード) に切り換えます。



ボリュームノブ

- ノブを右または左に回して、音量を調節します。
- アジャストモード時の選択に使います。

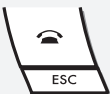


[∩]通話ボタン

- 着信または発信をします。

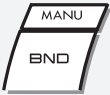
[▶/■・ENT]プレイ/ポーズボタン

- ラジオモードのとき押し続けると (約1.5秒間) 自動的に放送局を登録します。
- SD/ブルートゥースモードのとき、一時停止をします。
- SDモードのとき押し続けると (約1.5秒間) 手動選曲モードに入ります。
- アジャストモードのときに設定を決定します。



[☎]終話ボタン

- 通話を終了します。
- 現在の操作を取り消します。

**[BND]バンドボタン**

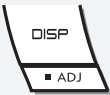
- ラジオモードのときにバンドを切り換えます。
- 押し続けると（約1.5秒間）、自動選局または手動選局に切り換えます。
- SDモードのときに現在のフォルダの最初の曲から再生します。
- 押し続けると（約1.5秒間）、メモリーカードの最初の曲から再生します。

**[RDM]ランダムボタン**

- SDモードのとき、曲をランダムに演奏します。
- 押し続けると（約1.5秒間）、クイックランダム演奏をします。

**[へ]、[∨]アップダウンボタン**

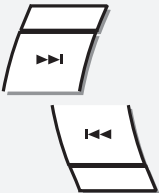
- SDモードのとき、フォルダを選択します。

**[DISP]ディスプレイボタン**

- SDモードのときにディスプレイ表示を次の順に切り換えます。
トラック名→フォルダ名→
タイトルTAG→アルバムTAG→
アーティストTAG→トラック名…
- 押し続けると（約1.5秒間）、アジャストモードに切り換えます。

**ダイレクトボタン（1～6）**

- ラジオモードのとき、放送局を登録または、登録した放送局を直接呼び出します。
- 電話モードのとき、電話番号を登録または、登録した電話番号を呼び出します。

**[◀▶]、[▶▶]サーチボタン**

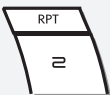
- ラジオモードのときは選局をします。SD/ブルートゥースモードのときは曲を選びます。
- 各種設定に使用します。

**[ISR] ISRボタン**

- 登録した放送局を呼び出します。
- ラジオモードのとき、押し続けると（約1.5秒間）、現在の放送局を登録します。

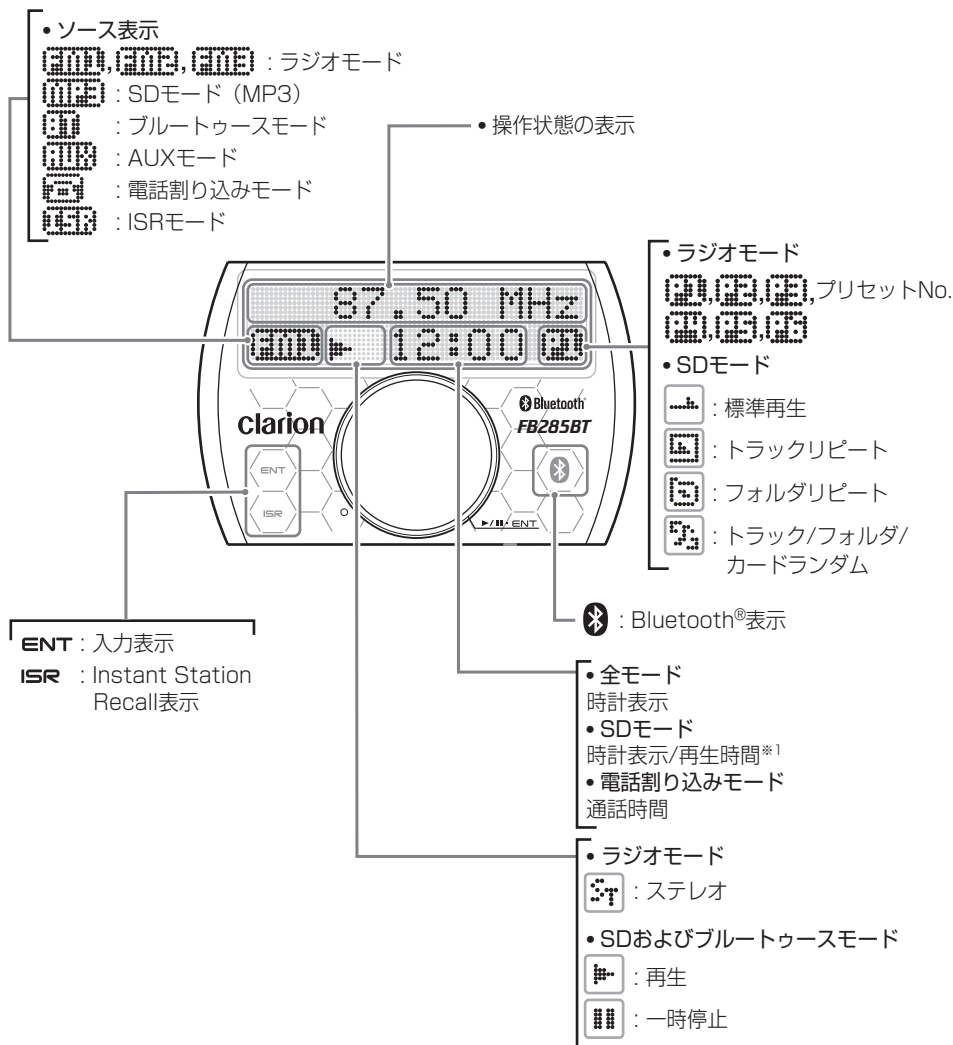
**[1]ボタン**

- SDモードのときに現在の曲を最初から再生します。

**[RPT]リピートボタン**

- SDモードのとき、曲を繰り返し演奏します。
- 押し続けると（約1.5秒間）、フォルダリピート演奏をします。

ディスプレイ表示



※ 1 : 時計表示に設定している場合は、再生時間は表示しません。時計関連の設定については、42ページの「時計を設定する」をご覧ください。

DCPの取り外し/取り付けかた

DCP (Detachable Control Panel) について...

コントロールパネルは盗難防止用に取り外すことができます。
車から離れたときは、DCPをお持ちになることをお勧めします。

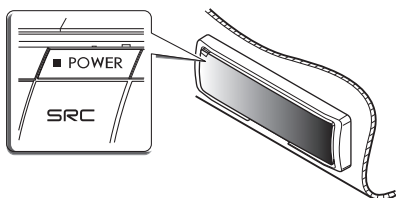
⚠ 注意

- DCPを取り外した後は、安全のために必ずホールドフラップを閉めてください。
- DCPは衝撃に弱いです。落したり強い衝撃を与えると故障の原因となりますのでご注意ください。
- フリップダウンパネルが開いたままになっていると、車の振動でDCPが落ちる場合があります。DCPの故障の原因となりますので、フリップダウンパネルを閉じるか、DCPを取り外して保管してください。
- DCPを接続しているコネクタは大変重要な部分です。爪やドライバーなどで押してキズを付けないように、注意してください。

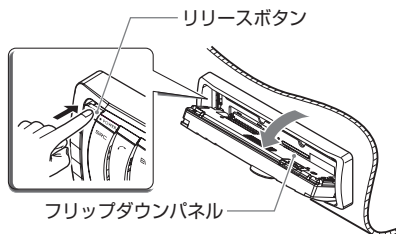
ご注意

- DCPが汚れている場合、乾いたやわらかい布でふいてください。

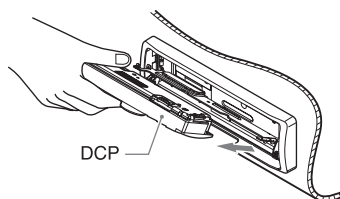
1 [SRC] ボタンを押し続けて (約1.5 秒間)、電源を切る



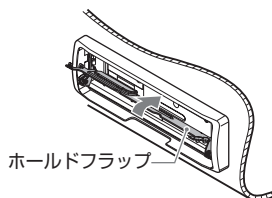
2 リリースボタンを深く押して、フリップダウンパネルを開く



3 DCPを手前に取り外す



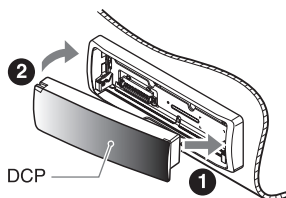
4 ホールドフラップを閉める

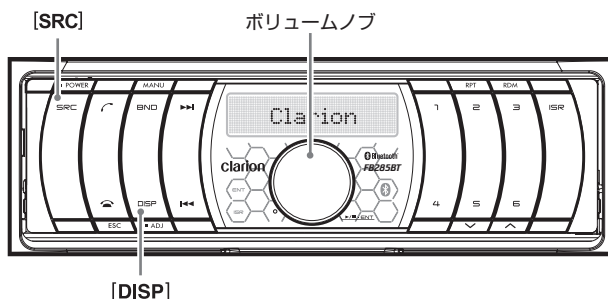


■ DCPを取り付けるには

1 DCPの右側を本機に差し込む

2 DCPの左側を本機に差し込む





電源を入れる

1 [SRC]ボタンを押す

→本機は、電源を切ってもソースを記憶しており、次回、そのソースに自動的に切り換わります。但し、ブルートゥースモードのときは切り換わりません。

2 電源を切るときは[SRC]ボタンを押し続ける(約1.5秒間)

⚠ 注意

- 本機の電源またはエンジンキーを停止する場合は、必ず音量を下げてください。次に電源を入れたときに、突然の高音響により聴覚を痛めたり本機を損傷する場合があります。

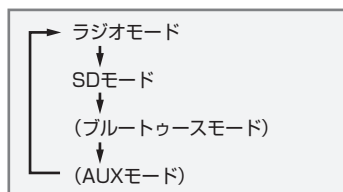
ご注意

- バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

ソースを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→押すたびに、次のように切り換わります。



※ブルートゥースモードは、ブルートゥースオーディオが接続されている場合にのみ選択できます。AUXモードはアジャストモードの設定がONになっている場合にのみ選択できます。

ご注意

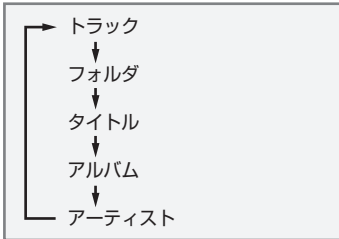
- SDメモリーカードが装着されていないときにSDモードが選択されると、「**NO CARD**」が表示されます。

表示を切り換える

1 [DISP]ボタンを押して、表示する内容を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

●SDモード



※音量調節などの機能を使用する場合、画面がその機能の表示に切り換わりますが、調節の数秒後に元の表示に戻ります。

音量を調節する

1 ボリュームノブを回す

→右に回すと音量が大きくなり、左に回すと音量が小さくなります。

ポータブルオーディオを聴く(AUX)

本機に市販のポータブルオーディオなどを接続して、音楽ソースを聴くことができます。

市販のRCAコードを使用して、ポータブルオーディオを[AUX入力端子]へ接続してください。

1 ポータブルオーディオ機器などをAUX 入力端子に接続する

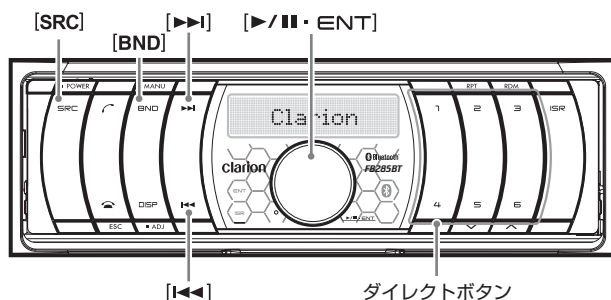
2 [SRC]ボタンを押して、AUXモードを選ぶ

■AUX機能を使用するには…

AUX機能の初期設定は、「OFF」です。

詳しくは「AUX機能を設定する」(41ページ)をご覧ください、「ON」に設定してください。

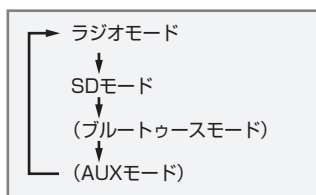
ラジオを聴く



ラジオを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押して、ラジオモードを選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。



受信バンドを切り換える

1 [BND]ボタンを押す

→押すたびに、バンドが切り換わります。



ご注意

- ・本機は、AM放送及び交通情報の受信はできません。

自動選局する(シーク選局)

初期設定は、自動選曲「SEEK TUNE」です。

1 [◀◀],[▶▶]サーチボタンを押す

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 [BND]ボタンを押し続ける(約1.5秒間)

→「**MANUAL TUNE**」が表示されます。
「**SEEK TUNE**」が表示された場合は、もう一度[BND]ボタンを押し続けてください。

2 [◀◀],[▶▶]サーチボタンを押して、放送のあるところに合わせる

→手動選局には、ステップ選局とクイック選局があります。

- ・ステップ選局のときは、[◀◀],[▶▶]ボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- ・クイック選局のときは、[◀◀],[▶▶]ボタンを押し続ける(約1.5秒間)と、周波数が連続して切り換わります。

プリセット選局する

プリセット選局について…

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

- 1 ダイレクトボタン(1～6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ

→ディスプレイに受信周波数とプリセット No.を表示します。

ご注意

- ダイレクトボタン(1～6)を押し続ける(約1.5秒間)とプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、FM3各6局、合計で18局です。

- 1 [BND]ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ
- 2 [◀◀],[▶▶]サーチボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ
- 3 メモリーさせたいダイレクトボタン(1～6)を押し続ける(約1.5秒間)

→ディスプレイに「**SAVED**」を表示してメモリーされます。

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について…

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

ご注意

- 自動メモリーは、FM3にメモリーされます。

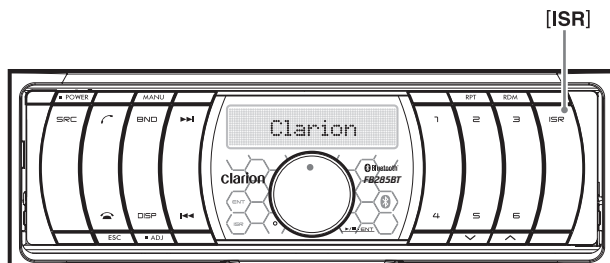
- 1 [▶/II・ENT]プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約1.5秒間)

→タイトル表示部に自動メモリー動作中の周波数を表示します。

自動的に、受信感度の良い放送局がダイレクトボタン(1～6)に登録されていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。



特定の放送局をすぐに選局する (ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について…

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。

初期設定は、登録されていません。このとき「EMPTY」を表示します。

■ISRにメモリーするには…

- 1 メモリーしたい放送局を選局し、
[ISR]ボタンを押し続ける(約1.5秒間)

→ディスプレイに「**SAVED**」を表示してメモリーされます。

■放送局をすぐに選局するには・・・

- 1 [ISR]ボタンを押す

→メモリーされていない場合は、
「EMPTY」を表示します。

■元のモードに戻すには…

もう一度、[ISR]ボタンを押してください。

MP3を聴く

MP3について

●MP3とは

MP3はMPEG規格のオーディオレイヤー3に分類される音声圧縮方式です。この音声圧縮方式は、パソコンユーザーの間では、標準形式になっています。MP3は、高音質のままで、オリジナルの音声データを約12%のデータ量に圧縮できるのが特長です。これにより、複数の音楽用CDを1枚のSDカードに録音して、長時間再生することが可能になりました。

●SDカードでMP3を作成する場合のご注意

- ・再生可能なサンプリングレートとビットレート

MP3	
デコード形式	MPEG1、2 (レイヤ3)
サンプリングレート(kHz)	MPEG-1 :32、44.1、48 MPEG-2 :16、22.05、24
ビットレート(kbps)	MPEG-1 :32~320 MPEG-2 :8~160
SD形式	FAT12、FAT16

フォルダ階層 : 8階層

最大ファイル数 : 400

最大フォルダ数 : 255

ファイル名 : 最大30文字

フォルダ名 : 最大30文字

ファイル拡張子

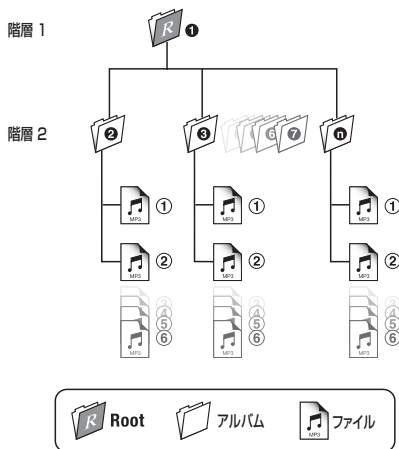
- ・MP3ファイルには、必ず、半角文字でファイル名と拡張子「.mp3」を付けてください。指定以外のファイル拡張子を付けた場合、またはファイル拡張子を付け忘れた場合、ファイルを再生できません。
- ・他のファイル拡張子を「.mp3」に絶対に変更しないでください。本機を損傷する可能性があります。有効なMP3ファイルに変更する場合は、適切なオーディオコンバーターを使用してください。

論理フォーマット(ファイルシステム)

1. MP3ファイルをSDカードに書き込む場合、システムファイル形式として「**FAT12**」または「**FAT16**」を選択してください。Windows XPでは、512MB以上の容量はデフォルトでFAT32でフォーマットされることにご注意ください。このため、ディスクで「**FAT32**」システムファイル形式が使用されている場合、「**FAT16**」の「**FAT**」システムファイル形式でディスクをフォーマットしてください。フォーマットにより、すべてのデータが消去されます。このため、必要なデータは、必ずコンピューターにバックアップを取ってください。

フォルダ階層

1. フォルダを8階層以上で作成することはできません。次のような階層構造が推奨されます。



ご注意

- ・「①」は「ファイル数またはフォルダ数」の条件で限定されるフォルダの数です。
- ・rootフォルダにはオーディオファイルを入れないでください。

ファイル数/フォルダ数

1. ファイル数は最大400まで作成できます。
フォルダ数は最大255まで作成できます。
(但しファイル数は400まで)
2. 曲の演奏は記録した順番に行われます。(パソコン上で表示される順番通りに演奏されるとは限りません。)
3. 記録時に使用されたエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。

ファイル名/フォルダ名

1. MP3再生ではフォルダ名、ファイル名、TAGをタイトルとして表示することが可能ですが、このタイトルは30文字以内(拡張子は除く)の半角英数/記号(ASCII)でなければなりません。30文字よりも長いタイトルは表示されません。それ以外の文字を入力した名称は、正しく表示しない場合があります。

SDメモリーカードについて

- SDメモリーカードで再生可能なファイルは、MP3です。
- SD規格に準拠したSDメモリーカードをご使用ください。(FAT12 FAT16)
すべてのSDメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- 使用可能なSDメモリーカードは、32MB～2GBです。
- 本機はSDオーディオには対応していません。
- SDHCメモリーカード、MMC(マルチメディアカード)には対応していません。
- マイクロSD/mini SDメモリーカードを脱着させる場合は、必ずアダプターと一緒に取り外してください。
- SDメモリーカードをフォーマットする際は、ファイルシステムをFAT32以外でフォーマットしてください。
- 間違ってデータを消さないために、重要なデータは必ずコンピュータにバックアップを取ってください。
- SDメモリーカードについては、クラリオンのホームページをご覧ください。または、お客様相談室にお問い合わせください。(裏表紙参照)

メモリーカードを入れる

1 リリースボタンを押して、フリップダウンパネルを開く

2 メモリーカードスロットに、メモリーカードのラベル面を上にして入れる

3 フリップダウンパネルを閉じる

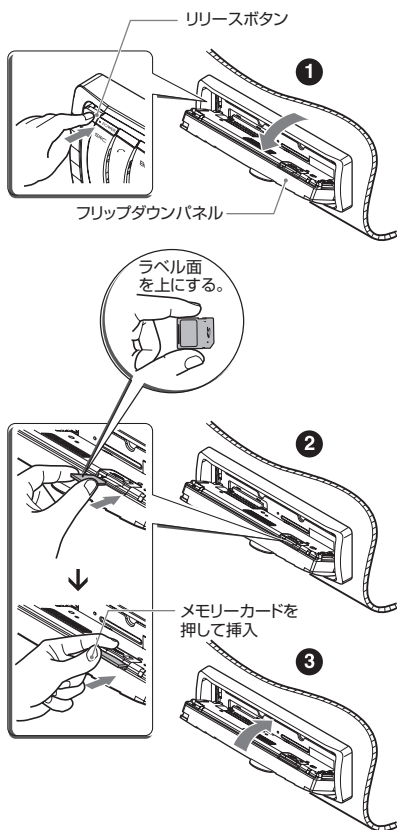
→ディスプレイに「**Loading...**」と表示され、読み込み後にメモリーカードが自動的に再生されます。

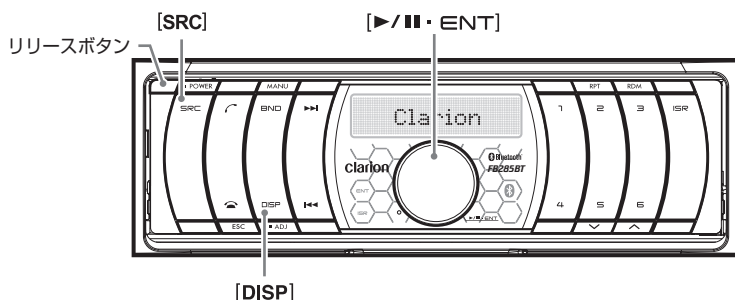
- メモリーカードの最初のファイルから再生がはじまります。
- フリップダウンパネルを開くと、「**FLIPPED**」が表示されます。
- メモリーカードは必ず完全にスロットに押し込んでください。完全に入っていない場合、メモリーカードが認識されず、フリップダウンパネルが閉じられません。
- 作成されたフォルダ階層およびファイル数により、すべての曲を読み込みするまでに時間がかかる場合があります。この場合、19ページの「**SDカードでMP3を作成する場合のご注意**」を参照して、適切なフォルダ階層/ファイル数/ファイル名で作成してください。
- メモリーカード内にMP3ファイルが入っていないフォルダを作成すると、ファイルの読み込みに時間がかかる場合があります。

⚠ 注意

- 本機が破損する場合がありますため、メモリーカードスロットには異物を入れないでください。
- 指定以外のメモリーカードを入れないでください。本機からカードを取り出せなくなる場合があります。

- 間違った入れかたでメモリーカードを無理にスロットに入れないでください(ラベルが下向き、逆方向など)。
- メモリーカードを車内に放置しないでください。直射日光や高温にさらされると、メモリーカードが変形したり故障する場合があります。
- メモリーカードが静電気や電気ノイズにさらされると、データが消失する場合があります。





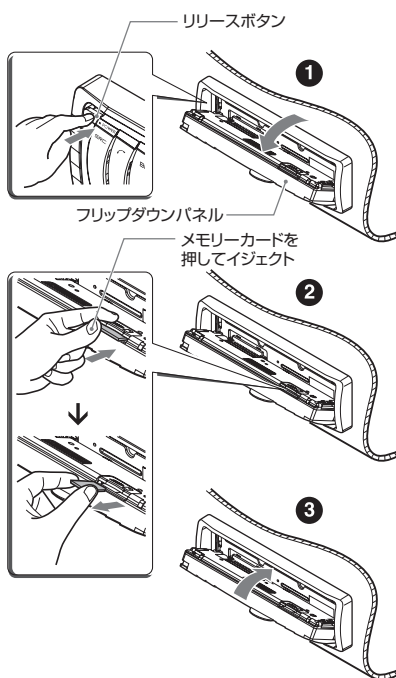
メモリーカードを取り出す

- 1 リリースボタンを押して、フリップダウンパネルを開く
- 2 メモリーカードをゆっくり押して、イジェクトされたら取り出す
- 3 メモリーカードを取り出した後、フリップダウンパネルを閉じる

- 取り出すときにメモリーカードが飛び出す場合があります。

⚠ 注意

- フリップダウンパネルが完全に開かないうちにメモリーカードを取り出さないでください。メモリーカードと本機が故障する場合があります。完全にフリップダウンパネルが開いてから、カードを取り出してください。
- 開いたフリップダウンパネルの中に、メモリーカードを落とさないようにご注意ください。



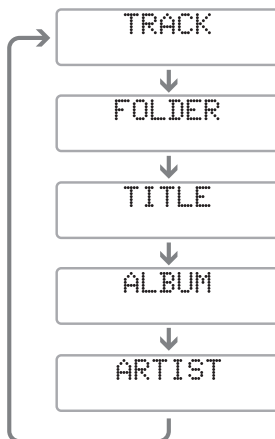
すでに入っているメモリーカードを聴く

[SRC]ボタンを押して、SDモードを選択します。「**SD**」インジケーターが点灯します。

→本機がSDモードになると、自動的に再生がはじまります。

※SDメモリーカードが装着されていないときにSDモードが選択されると、「**NO CARD**」が表示されます。

※MP3ファイルが検出されない場合、ディスプレイに「**NO MP3**」が表示されます。



再生を止める(一時停止)

1 [▶/⏸・ENT]プレイ/ポーズボタンを押す

→ディスプレイに“**⏸**”が表示されます。

2 再生を再開する場合は、[▶/⏸・ENT]プレイ/ポーズボタンをもう一度押す

→ディスプレイに“**▶**”が表示されます。

タイトルを表示する

本機はメモリーカードのタイトルデータを表示できます。

1 [DISP]ボタンを押す

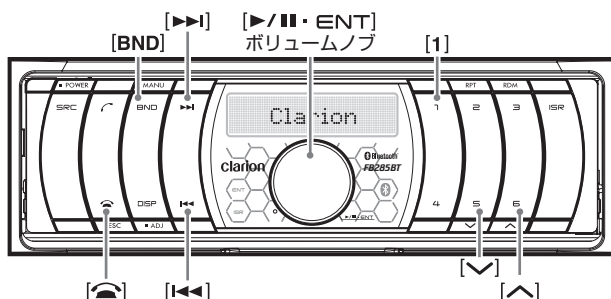
→タイトルを表示します。

2 別のタイトルを表示する場合は、もう一度[DISP]ボタンを押す

→押すたびに、次のように切り換わります。

ご注意

- アーティスト情報が記録されていない場合、「**NO ARTIST**」が表示されます。
- MP3ファイルのID3-TAGヘッダーがエンコードされたときに、TAG情報が含まれていない場合、「**unknown**」が表示されてから、次のように切り換わります。
 - ・ アルバム情報が記録されていない場合、フォルダ名が表示されます。
 - ・ タイトル情報が記録されていない場合、ファイル名が表示されます。
- MP3の場合、ID3-TAG (V2.3/V2.4)に対応しています。これ以前のID3-TAGの表示はできませんが、曲の再生はできます。
- TAG表示は、半角英数/記号(ASCII)のみ表示されます。UNICODE ID3(日本語など)には対応していません。TAG表示が日本語、その他の非対応の文字であれば、文字の代わりに「*」が表示されます。
- フォルダ名は「**(Root)**」のように表示され、ファイルはrootディレクトリに割り当てられています。



曲を選ぶ

■トラックアップ

- 1 [▶▶I]サーチボタンを押して、次のトラックの先頭に移動する

→[▶▶I]サーチボタンを押すたびに、次の曲の先頭に移動します。

■トラックダウン

- 1 [I◀◀]サーチボタンを押して、1つ前のトラックの先頭に移動する

→[I◀◀]サーチボタンを押すたびに、1つ前の曲に戻って再生されます。

ご注意

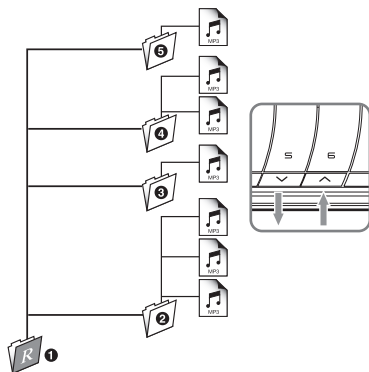
- 本機では早送り/早戻し機能は使用できません。

フォルダを切り換える (フォルダ選択モード)

MP3ファイルの入ったフォルダを選択し、そのフォルダの最初の曲から再生をはじめます。

- 1 [^]または[∨]ボタンを押す

→[∨]ボタンを押すと、次のフォルダに移動します。[∨]ボタンを押すと、1つ前のフォルダに移動します。



- 2 [I◀◀], [▶▶I]サーチボタンを押して、曲を選ぶ

ご注意

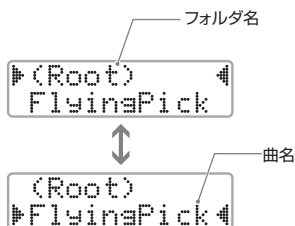
- 最後のフォルダを選択しているときに [^] ボタンを押すと、最初のフォルダに移動します。
- 最初のフォルダを選択しているときに [v] ボタンを押すと、最後のフォルダに移動します。
- [v] ボタンを押すと、常に1つ前のフォルダの最後のトラックが再生されます。
- MP3ファイルの入っていないフォルダは選択できません。

お好みの曲を選択する

お好みのフォルダを選択しながら続けて曲を選択することができます。

1 [▶/■・ENT] プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約1.5秒間)

2 [◀◀],[▶▶] サーチボタンを押して、フォルダまたは曲を選ぶ



3 ボリュームノブを回して、フォルダまたは曲を選ぶ

※選択した曲を再生します。

4 [▶/■・ENT] プレイ/ポーズボタンをもう一度押すか [⏮] ボタンを押す
→モードが終了します。

ご注意

- フォルダを選択するのにかかる時間は、フォルダ構造の複雑さにより異なります。このときにモードを終了すると、「Loading...」が表示されます。
- 10秒以上操作をしない場合、キャンセルになり、前の表示に戻ります。

曲の先頭から再生する

現在再生中の曲の先頭に戻って再生できます。

1 [1] ボタンを押して、現在の曲の先頭に移動する

ご注意

- 電話の割り込み、オーディオストリーミングの後、またDCPを開けたり、電源を入れ直した後は、自動的にトラックの先頭から再生されます。

フォルダの先頭から再生する

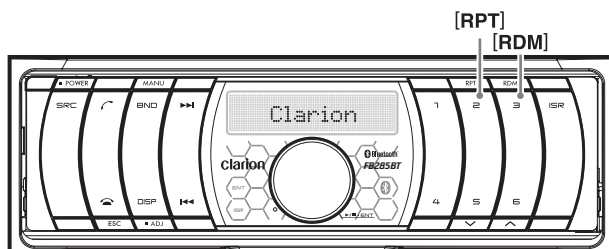
現在再生されているフォルダの先頭の曲に戻り、再生を開始します。

1 [BND] ボタンを押して、現在のフォルダの最初の曲から再生する

2 [BND] ボタンを押し続け(1.5秒以上)、メモリーカードの最初の曲を再生する

ご注意

- これらの操作では、トラックリピート演奏とすべてのランダム演奏がキャンセルになります。



リピート演奏

■トラックリピート演奏

現在、再生中の曲を繰り返し再生します。

1 [RPT]ボタンを押す

→リピート演奏中は、ディスプレイの「」インジケーターが点灯します。

ご注意

- 電源を切った場合または、ランダム演奏を解除した場合はこの機能は保持されません。

■リピート演奏をキャンセルする場合

1 もう一度、[RPT]ボタンを押す

→キャンセルした場合は、ディスプレイに「」インジケーターが点灯します。

■フォルダリピート演奏

現在、再生中のフォルダ内のすべての曲を繰り返し再生します。

1 [RPT]ボタンを押し続ける(約1.5秒間)

→「RPT FLDR ON」が一時的に表示されます。

- フォルダリピート演奏中は、ディスプレイの「」インジケーターが点灯します。

ご注意

- 電源を切った場合または、ランダム演奏を解除した場合でもこの機能は保持されます。

■フォルダリピート演奏をキャンセルする場合

1 もう一度、[RPT]ボタンを押し続ける(約1.5秒間)

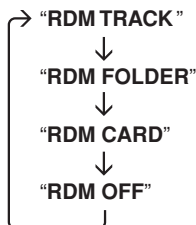
→「RPT FLDR OFF」が表示されます。

- キャンセルした場合は、ディスプレイに「」インジケーターが点灯します。

ランダム演奏

ランダム演奏には以下の3つおよびクイックランダム演奏の4つの機能があります。

→[RDM] ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



→ランダム演奏中はディスプレイの「」インジケーターが点灯します。

ご注意

- ランダム演奏は、フォルダ階層を複雑に作成した場合、再生に時間がかかることがあります。最適な再生のためには、19ページの「SDカードでMP3を作成する場合のご注意」を参照して、適切なフォルダ階層を作成してください。

■トラックランダム演奏

現在、再生中のフォルダ内の曲をランダムに再生します。

- 1 [RDM] ボタンを押して、「RDM TRACK」を選ぶ

ご注意

- 選択しているフォルダ内のすべての曲が再生された後、フォルダを移動します。

■フォルダランダム演奏

ランダムに選択したフォルダをアルファベットの順に再生します。

- 1 [RDM] ボタンを数回押して、「RDM FOLDER」を選ぶ

■カードランダム演奏

すべてのフォルダ内の曲をランダムに再生します。

- 1 [RDM] ボタンを数回押して、「RDM CARD」を選ぶ

■ランダム演奏をキャンセルする場合

- 1 [RDM] ボタンを数回押して、「RDM OFF」を選ぶ

■クイックランダム演奏

すべてのフォルダの1曲目をランダムに再生します。操作後、通常再生に戻ります。

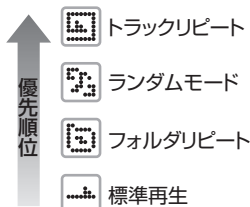
- 1 [RDM] ボタンを押し続ける(約1.5秒間)

■クイックランダム演奏をキャンセルする場合

- 1 もう一度、[RDM] ボタンを押し続ける(約1.5秒間)

リピート・ランダム演奏の優先順序

リピート・ランダム演奏機能には、次の優先順序が割り当てられ、機能を選択するとアイコンが表示されます。



Bluetooth® 無線技術について

●Bluetooth®無線技術とは

Bluetooth® 無線技術は、携帯電話機やヘッドセットなどの機器同士を、コードを使用せずに接続する無線技術で、本機は機器間の距離が約10メートル以内であれば通信できます。詳細は www.bluetooth.com をご覧ください。

●Bluetooth® 無線プロファイルとは

Bluetooth®無線プロファイルは、Bluetooth®機器が他の機器と通信する際の各種の方法です。Bluetooth®携帯電話機は、通常はハンズフリープロファイル(HFP)に対応しています。

ハンズフリープロファイル(HFP)

通常は、車載のハンズフリーキットと携帯電話機との通信用に使用されます。Bluetooth®車載キットにより、Bluetooth®機能を持つ携帯電話機の利用者は電話のBluetooth®機能の一部を利用できます。

高度音声配信プロファイル(A2DP)

A2DPとは、Bluetooth®対応機器からステレオ音楽を送信するためのプロファイルです。本機は、このプロファイルを使用して、Bluetooth®対応携帯電話機や携帯音楽プレーヤーでストリーミング形式の音楽を聴くことができます。

音声/ビデオリモート制御プロファイル(AVRCP)

AVRCPとは、Bluetooth®対応機器を遠隔操作するためのプロファイルです。本機は、このプロファイルを使用して、再生開始/一時停止/曲送りなどの基本的な操作をすることができます。

●ペアリングとは

Bluetooth®技術を搭載した携帯電話機では、初めて使用するとき、本機を電話/Bluetooth®オーディオ機器と「ペアリング」しなければなりません。

ペアリングにより、2台のBluetooth®機器間に暗号化された固有のリンクが形成され、両側の機器からの通信が可能になります。この後のペアリング作業は不要です。Bluetooth®機器は、ペアリングされていなければ動作しません。本機は最大8台の機器のペアリング情報を登録できます。

●パスキーとは

パスキー(PIN)は、本機とのペアリング時に携帯電話機に入力するコードです。この操作により、携帯電話機/Bluetooth®オーディオ機器と本機が双方向に認識を行い、自動的に連動します。本機のパスキーは「0000固定」です。

携帯電話機とペアリングする

1 本機のペアリングモードを有効にする

- ・詳細は31ページの「新しい機器を登録する(ペアリングモード)」をご覧ください。

2 携帯電話機のBluetooth®を起動する

- ・詳しくは、携帯電話機の取扱説明書をご覧ください。

3 携帯電話機で新しいBluetooth®機器を検索する

- ・本機の名称は「CLARION_FB28※」です。

4 本機に接続する場合、携帯電話機からパスキーの入力が要求されたらPIN「0000」を入力する

→ペアリングに成功すると、機器の名称が表示され、この後、編集を行います。詳細については、31ページの「機器名を編集する」以降をご覧ください。

ご注意

- ・お使いの携帯電話機がHFPプロファイルに対応しているか確認してください。
- ・本機の手載ハンズフリーを使用する場合、必ず携帯電話機のBluetooth®の設定をご確認ください。
- ・すでに他の機器と接続されている場合は、ペアリングできません。ペアリングの際は、一度接続を解除してください。詳しくは、携帯電話機の取扱説明書をご覧ください。

外部Bluetooth® オーディオプレーヤー(A2DP対応)とペアリングする

1 本機のペアリングモードを有効にする

- 詳細は31ページの「新しい機器を登録する(ペアリングモード)」をご覧ください。

2 ペアリングモードで、Bluetooth® オーディオプレーヤーを設定する

- 詳しくは、Bluetooth®オーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングと接続に成功すると、表示が自動的にブルートゥースモードに切り換わり、音楽の再生がはじまります。接続はどのソースモードでも設定できます。
- Bluetooth® オーディオプレーヤーを接続する場合、A2DPとAVRCPプロファイルに対応していることをご確認ください。
- Bluetooth®オーディオプレーヤーを接続する場合、ピンコード「0000」の入力ができない機器もございます。

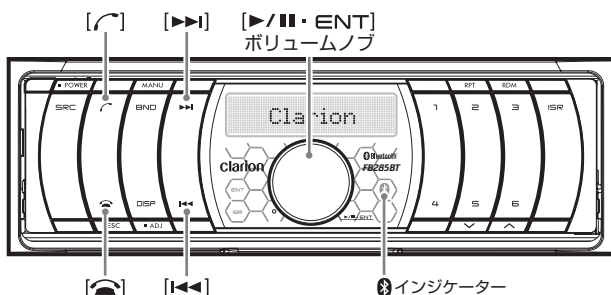
その場合は本機と同じピンコードを有するBluetooth®オーディオプレーヤーのみ接続できます。

またペアリングさせる場合は、本機とBluetooth®オーディオプレーヤー側を同時にペアリングモードにして、ペアリングさせてください。

- 携帯電話機によって、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時に行う機種がございます。一部の携帯電話機では、オーディオ機能使用中に着信すると、再びオーディオを再開する為には、電話機のオーディオプレーヤーを経由した再生を、手動で再開する必要があります。

- ストリーミング形式の音楽の機能については、38ページの「オーディオストリーミングを再生する」をご覧ください。

その他のBluetooth®関連の調節については、31ページの「Bluetooth®機能を設定する」をご覧ください。



Bluetooth®機器を接続する

Bluetooth®機器は、通常はペアリングの後、自動的に本機に接続されます。ただし、電話機によっては、ペアリングの後、本機に自動的に接続されない場合があります。この場合は、手動で本機に電話機を接続してください。

アジャストモードで自動接続が有効になっている場合、本機は電話モードへの切り換え後、または電源投入時に、以前接続していた電話機との接続を試みます。接続はどのソースからでも有効です。接続に失敗すると、自動接続が停止します。32ページの「**自動接続**」を参照にして、この機能を「**ON**」にしてください。

接続に成功すると、「」インジケータが点灯します。

ご注意

- 自動接続はハンズフリー使用時のみ作動します。Bluetooth®オーディオ機能使用時は、手動で接続する必要があります。
- オーディオストリーミングとハンズフリー機能を同時に接続される場合オーディオストリーミングの前に、ハンズフリー機能を本機に接続してください。
- 2台の異なる機器を同時に接続すると、通常の動作に影響する場合があるため、1台ずつ使用することをお勧めします。

Bluetooth®機器を切断する

- 1**  ボタンを押し続け(約1.5秒間)、すべてのBluetooth®機器を切断する

→「**CLOSING CONNECTIONS**」が表示され、「」インジケータが消えます。

ご注意

- アジャストモードですべてのBluetooth®機器を取り外した場合も、現在使用している機器が切断されます。
- また、電話機を使って機器を手動で切断することもできます。ただし一部の機器は切断された後、自動的に再接続されます。詳しくは、Bluetooth®機器の取扱説明書をご覧ください。

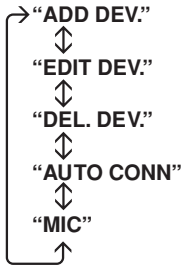
Bluetooth®機能を設定する

1 [DISP] ボタンを押し続け(約1.5秒間)、アジャストモードに切り換える

2 [◀◀],[▶▶]サーチボタンを押して、「BLUETOOTH」を選ぶ

3-1 [▶/III・ENT]プレイ/ポーズボタンを押す

3-2 [◀◀],[▶▶]サーチボタンを押して、「項目名」を選ぶ



■新しい機器を登録する(ペアリングモード)

携帯電話機は、8台まで登録できます。

3-2 「ADD DEV.」を選ぶ

3-3 [▶/III・ENT]プレイ/ポーズボタンを押す

→ “” インジケーターが点滅します。
ディスプレイに「**Pairing...**」が表示され、ペアリングモードになります。

ご注意

- ペアリングのタイムアウトは約3分です。
- 操作を中止する場合は、「」ボタンを押します。

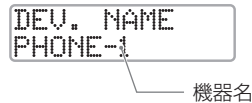
■機器名を編集する

3-2 「EDIT DEV.」を選ぶ

3-3 ボリュームノブを回して、編集する機器名を選ぶ

3-4 [▶/III・ENT]プレイ/ポーズボタンを押す

→ディスプレイに機器名が表示されます。



3-5 ボリュームノブを回して、文字を入力する

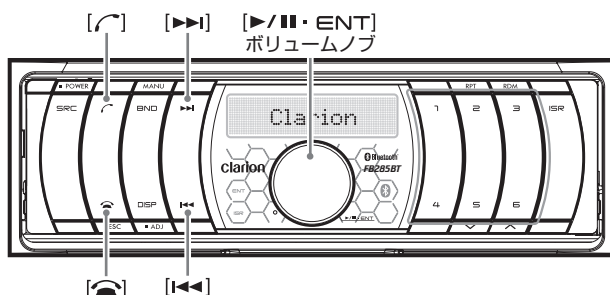
3-6 [▶▶]サーチボタンを押すか、[▶/III・ENT]プレイ/ポーズボタンを押して、次の文字に移動する

→[◀◀]サーチボタンを押すと1つ前の文字に戻れます。

3-7 最後の空白文字で[▶/III・ENT]プレイ/ポーズボタンを押して、名前を登録する

ご注意

- 任意の位置で[▶/III・ENT]プレイ/ポーズボタンを押し続けた場合も(約1.5秒間)、名前が登録されます。
- 機器が接続されていない場合、「(no devices)」がディスプレイに表示されません。



■機器を削除する

3-2「DEL. DEV.」を選ぶ

3-3 ボリュームノブを回して、削除する機器を選ぶ

3-4 [▶/||・ENT] プレイ/ポーズボタンを押す

→ディスプレイに「CONFIRM?」削除の確認画面が表示されます。

3-5 ボリュームノブを回して、「YES」または「NO」を選ぶ

- 削除する場合は、YESを選んでください。

3-6 [▶/||・ENT] プレイ/ポーズボタンを押して、削除されます。

■ご注意

- 機器が接続されていない場合、「(no devices)」がディスプレイに表示されます。
- 複数の機器が登録されている場合に「ALL」が選択できます。
- 本機のペアリング情報を削除しても、接続先の携帯電話機側で登録されている本機の情報は削除されません。

携帯電話機側でのペアリング情報を削除する方法は、携帯電話機側の取扱説明書をご覧ください。

- 機器を削除すると、現在接続されているすべてのBluetooth®の接続が切断されます。

■自動接続

電源投入時または電話モードへの切り換え後に、直前まで接続されていた機器に自動的に接続されます。
初期設定は、「OFF」です。

3-2「AUTO CONN」を選ぶ

3-3 ボリュームノブを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ

- **ON** : 自動接続されます。
- **OFF** : 自動接続できません。

■ご注意

- 一部の携帯電話機では、自動接続させるために設定を「自動待ち受け」にする必要があります。

■外部マイク入力を選択する

初期設定は、「INTERNAL」です。

3-2「MIC」を選ぶ

3-3 ボリュームノブを回して、次のいずれかを選ぶ

- **INTERNAL** : 内蔵マイクが使用できます。
- **EXTERNAL** : 外部マイクが使用できます。

ハンズフリー通話をする

プリセット電話番号を登録する

本機から直接通話できます。本機には6件のプリセット電話番号を登録できます。

■電話番号編集モード

1 [] ボタンを押して、電話モードに切り換える

2 [], [] サーチボタンを押して、「MEMORY 1」～「MEMORY 6」から選ぶ

“VOICEDIAL” ↔ “LN REDIAL” ↔
“MEMORY 1” ↔ “MEMORY 2” ↔
“MEMORY 3” ↔ “MEMORY 4” ↔
“MEMORY 5” ↔ “MEMORY 6” ↔
“VOICE DIAL”

3 [] プレイ/ポーズボタンを押して、番号を編集する

→ 操作中の桁のカーソルが点滅します。

4 ボリュームノブを回して、番号を選ぶ

5 [] プレイ/ポーズボタンを押す

→ 次の番号の入力に移ります。

6 空白の桁または最後の16桁目(「  」インジケータが表示される)で [] プレイ/ポーズボタンを押して、番号をメモリーに登録する

ご注意

- 接続された携帯電話機を変更した場合でも、メモリーされた電話番号は保持されます。
- 「+」は最初の桁でのみ使用できます。
- 最大桁数: 16桁

- 数字を入力した桁で [] プレイ/ポーズボタンを押し続けた場合も(1.5秒以上)、番号がメモリーに登録されます。
- [] ボタンを押すと現在の操作がキャンセルされ、番号が保存されずに編集モードが終了します。10秒以上操作が行われない場合、編集モードがキャンセルされ、前の表示に戻ります。

■電話番号を消去する

1 消去したいメモリー番号を選び、 [] プレイ/ポーズボタンを押す

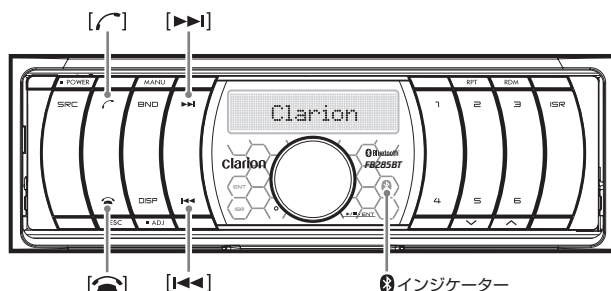
2 左側の数字からボリュームノブを回し、空白を選択する。

3 右ボタンを押し、順次、空白を選択する

4 最後に [] プレイ/ポーズボタンを押す

ご注意

- 電話番号の途中から削除したい場合は、右ボタンを押して削除したい数字を選び、空白に選択してください。



電話の着信

カーステレオをご使用中は、本機は待ち受け状態となります。着信時には、カーステレオの音量が自動的に消音され、呼出音が車載スピーカーから再生されます。カーステレオは一時的に電話割り込みモードに切り換わり、電話番号が本機に表示されます。

ご注意

- オーディオ再生時に電話割り込みができない場合は、携帯電話機の接続を再確認してください。
- 接続する携帯電話機により電話番号表示に対応していない携帯電話機がございます。また発信側の電話番号が認識できない場合がございます。

電話を受ける

カーステレオから直接着信を受けられます。

1 [handset icon] ボタンを押して、電話を受ける

→表示が電話割り込みモードに切り換わります。

ご注意

- 通話中、「」と通話時間が表示されます。
- 一部の電話機によっては、通話を自動的に受けるものがあります。

着信を拒否する

カーステレオから直接着信を拒否できます。

1 [handset with slash icon] ボタンを押して、着信を拒否する

→表示が前のモードに戻ります。

通話を終了する

通話をカーステレオから直接終了できます。

1 [handset icon] ボタンを押して、通話を終える

→表示が前のモードに戻ります。

ご注意

- 通話が終了すると、「CALL END」が表示されます。
- 本機が携帯電話機に接続され、通話中に車のエンジンキー（「ACC」ACCESSORY）スイッチを切っても通話は終了しません。本機は通話が終了するまで電源「ON」状態にあり、通話終了時に本機の電源が「OFF」になります。したがって通話中に車両を停止し、エンジンを切った場合でも通話を続けられ、通話が中断することはありません。

発信する

発信方法は音声発信/リダイヤル/登録番号からの発信の3通りあります。

電話が接続されていない場合、カーステレオから発信できません。アジャストモードで自動接続が有効になっている場合、カーステレオは最後に接続された機器への再接続を試みます。この動作は携帯電話機により異なります。

電話が接続され、「」インジケータが点灯していることをご確認ください。電話モードに切り換えると、表示の先頭の行に以下のアイコンが表示されます。



：発信が可能です。



：発信できません。電話を接続してください。

1 [>] ボタンを押して、電話モードに切り換える

2 [>], [>] サーチボタンを押して、以下のいずれかを選ぶ

“VOICEDIAL” ↔ “LN REDIAL” ↔
“MEMORY 1” ↔ “MEMORY 2” ↔
“MEMORY 3” ↔ “MEMORY 4” ↔
“MEMORY 5” ↔ “MEMORY 6” ↔
“VOICE DIAL”

3 もう一度 [>] ボタンを押して、発信する

ご注意

- ・発信すると「Dialing」が表示されます。プリセット電話番号ダイヤルを使用している場合、電話番号が表示されます。

■ボイスダイヤルで発信する

2-1 「VOICEDIAL」を選ぶ

3-1 もう一度 [>] ボタンを押して、ボイスダイヤルを起動する

3-2 内蔵/外部マイクに向かって、連絡先名を明瞭に発声し、ボイスダイヤルを実行する

ご注意

- ・この機能は携帯電話機により異なります。お使いの携帯電話機がボイスダイヤルに対応していなければ、この機能を使用できません。この機能のサポートについては、携帯電話機の取扱説明書をご覧ください。サポートされていない場合、または発信できなかった場合、「CALL FAIL」が表示されます。
- ・音声为正しく受信されるように、必要に応じて外部マイクを使用してください。

■最後にダイヤルした番号を発信する(リダイヤル)

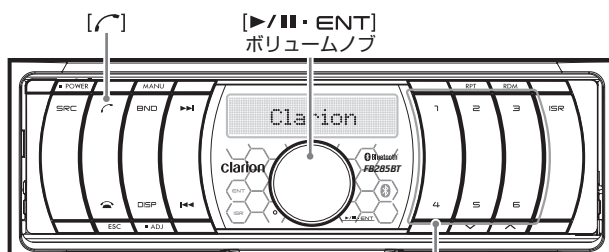
最後にダイヤルした番号を発信できます。電話が接続されている場合、電話で最後にダイヤルされた番号がリダイヤルされます。電話機ごとにリダイヤル番号は異なります。リダイヤル番号が割り当てられていない場合、リダイヤルを実行できません。

2-1 「LN REDIAL」を選ぶ

3-1 もう一度 [>] ボタンを押して、最後にダイヤルされた番号をリダイヤルする

ご注意

- ・一部の携帯電話機にはこの機能がサポートされておりません。
- ・通信状況により、本機能が機能しない場合がございます。



ダイレクトボタン

■プリセット電話番号を発信する

1 [] ボタンを押して、電話モードに切り換える

2-1 「MEMORY 1」～「MEMORY 6」から選ぶ

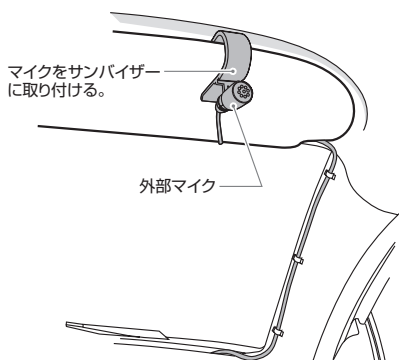
3-1 [] ボタンを押して発信する

また、プリセット電話番号を直接押しても発信できます。

外部マイクについて

- エアコンや車外の音が大きい場合は、マイクに声が入力できないことがあります。マイクをご使用のときは、なるべく外部の音から遮断された状態でご使用ください。
- マイクに近づいたり、意識的にマイクの方に向いたりせずに、安全に運転できる姿勢でご使用ください。
- 外部マイクを使用する場合、できるだけドライバーに近い場所に設置して使用してください。

内蔵/外部マイクへの切り換えについては、32ページの「外部マイク入力を選択する」をご覧ください。



ハンズフリーの音量

本機はエコーを低減する為の、ノイズキャンセラー機能があります。

ご注意

- 本機能によらず、カースピーカーからの通話先の声が大きい場合、マイクに入り、ノイズとなる場合がございます。その場合はカースピーカーからのボリュームを調整してください。

ハンズフリーの音量を調節する

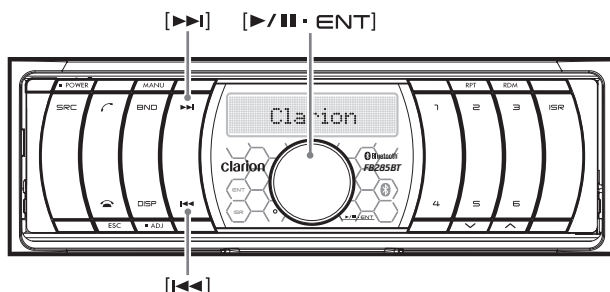
初期設定は、「**VOLUME 8**」です。

1 ボリュームノブを左右に回す

→右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。

- 音量レベルに応じて、「**VOLUME 1**」～「**VOLUME 16**」が表示されます。

オーディオストリーミングを聴く



●オーディオストリーミングとは

音楽ストリーミングは、Bluetooth®対応機器からカーステレオに音楽をストリーミング転送し、音楽を聴くことができます。

⚠ 注意

- 携帯電話機とBluetooth®オーディオプレーヤーなど複数台同時に接続した場合、曲の再生時にノイズや音切れが発生する場合があります。
- 携帯電話機によるオーディオストリーミングでは、電話割り込みにより、オーディオストリーミングが再開しない場合があります。これは携帯電話機により異なります。
- オーディオストリーミングを切断すると、ラジオモードに戻ります。

⚠ 注意

- 曲のストリーミング再生時に、ディスプレイに「STREAMING...」が表示されます。トラックに関する情報(再生時間、曲名など)は本機に表示されません。
- A2DP機器が切断された場合、ディスプレイに「NO STREAM」が表示され、ラジオモードに戻ります。
- Bluetooth®オーディオプレーヤーによっては、本機と同時に再生/一時停止が実行されない場合があります。ブルートゥースモード時に、機器と本機が同時に再生/一時停止が実行されるか確認してください。
- 使用状況により、本機の一時停止と再生の表示は、実際の動作と異なる場合がございます。

オーディオストリーミングを再生する

- 1 携帯電話機が接続されると、自動的に再生されます。

→ディスプレイに“”が表示されます。

- 2 [▶/⏸・ENT]プレイ/ポーズボタンを押して、再生を一時停止する

→ディスプレイに“”が表示されます。

曲を選ぶ

■トラックアップ(次の曲の選択)

- 1** [▶▶]サーチボタンを押して、次のトラックの先頭に移動する

→[▶▶]サーチボタンを押すたびに、1つ後のトラックから再生されます。

■トラックダウン(前の曲の選択)

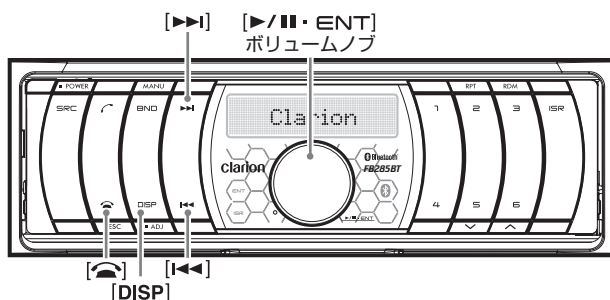
- 1** [◀◀]サーチボタンを押して、1つ前のトラックの先頭に移動する

→[◀◀]サーチボタンを押すたびに、1つ前のトラックから再生されます。

ご注意

- 再生順序は、Bluetooth®オーディオプレーヤーで設定された順序です。
- [◀◀]サーチボタンを押すと、一部のA2DP機器は再生時間に応じて、現在のトラックの先頭から再生をはじめます。
- 一部の携帯電話機にはこの機能がサポートされておりません。

設定を変更する(アジャストモード)



設定項目の選びかた

アジャストモードには、以下の5つのカテゴリーがあります。

- オーディオモード (41ページ)
(バス、トレブル、バランス、フェダー、ラウドネス)
- AUXモード(AUX入力) (41ページ)
- 時計設定モード (42ページ)
- 表示設定モード (43/44ページ)
- Bluetooth®設定モード (31/32ページ)

1 [DISP]ボタンを押し続け(約1.5秒間)、アジャストモードに切り換える

2 []、[]サーチボタンを押して、「項目名」を選ぶ

“BASS” ↔ “TREBLE” ↔ “BALANCE” ↔
“FADER” ↔ “LOUDNESS” ↔
“AUX INPUT” ↔ “CLOCK” ↔
“DISPLAY” ↔ “BLUETOOTH” ↔
“BASS”

ご注意

- 「 」が表示され、「 ENT 」が点灯した場合は、[] プレイ/ポーズボタンを押してください。
- ボリュームノブを回して、設定するときには「 」が表示されます。
- 設定の終了後、[]ボタンを押すと、前のモードに戻ります。
- 操作の途中で[]ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。
- 10秒以上何も操作をしないと、アジャストモードがキャンセルされ、前の画面に戻ります。

音質を調整する

■低音を調節する

初期設定は、「**0**」です。

2-1「BASS」を選ぶ

3-1 ボリュームノブを左右に回す

→右に回すと低音が強調され、左に回すと、低音が弱くなります。

- 調整の範囲は-7～+7です。

■高音を調節する

初期設定は、「**0**」です。

2-1「TREBLE」を選ぶ

3-1 ボリュームノブを左右に回す

→右に回すと高音が強調され、左に回すと、高音が弱くなります。

- 調整の範囲は-7～+7です。

■バランスを調節する

初期設定は、「**0**」CENTERです。

2-1「BALANCE」を選ぶ

3-1 ボリュームノブを左右に回す

→右に回すと、右のスピーカーの音が強調され、左に回すと左のスピーカーの音が強調されます。

- 調整範囲は**LEFT12**～**RIGHT12**までです。

■フェダーを調節する

初期設定は、「**0**」CENTERです。

2-1「FADER」を選ぶ

3-1 ボリュームノブを左右に回す

→右に回すと、前のスピーカーの音が強調され、左に回すと後ろのスピーカーの音が強調されます。

- 調整範囲は**REAR12**～**FRONT12**までです。

■ラウドネスを設定する

重低音を強調して、ダイナミックなサウンドを実現します。

初期設定は、「**OFF**」です。

2-1「LOUDNESS」を選ぶ

3-1 ボリュームノブを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ

AUX機能を設定する

AUX機能は、ポータブルオーディオなどの音声を本機で聴くための機能です。

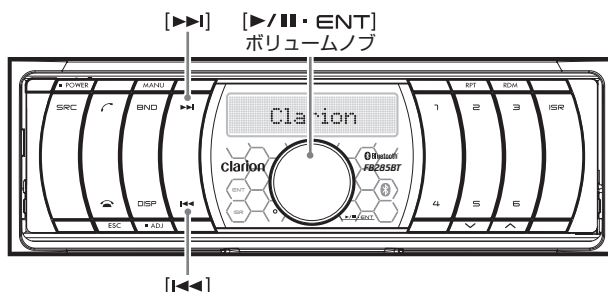
初期設定は、「**OFF**」です。

2-1「AUX INPUT」を選ぶ

3-1 ボリュームノブを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ

ご注意

- この設定を「ON」にしないと、SRCソースボタンでAUXを選択することはできません。

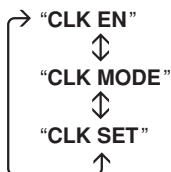


時計を設定する

2-1「CLOCK」を選ぶ

3-1 [PLAY/PAUSE/ENTER] プレイ/ポーズボタンを押す

3-2 [FWD], [REV] サーチボタンを押して、「項目名」を選ぶ



■時計を表示する

この設定では、すべてのソースモード時に時計をディスプレイに表示します。
初期設定は、「OFF」です。

3-2「CLK EN」を選ぶ

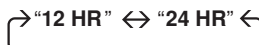
3-3 ボリュームノブを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ

■時計の表示形式を設定する

この設定では、12時間または24時間の表示方式を選択できます。
初期設定は、「12HR」12時間表示です。

3-2「CLK MODE」を選ぶ

3-3 ボリュームノブを回して、次のいずれかを選ぶ



- 12 HR: 12時間表示
- 24 HR: 24時間表示

■時刻を合わせる

3-2「CLK SET」を選ぶ

3-3 [PLAY/PAUSE/ENTER] プレイ/ポーズボタンを押す

3-4 [FWD], [REV] サーチボタンを押して、時または分を選ぶ

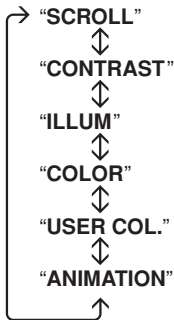
3-5 ボリュームノブを回して、時刻を合わせる

表示を設定する

2-1「DISPLAY」を選ぶ

3-1 [▶/■・ENT] プレイ/ポーズボタンを押す

3-2 [◀◀],[▶▶] サーチボタンを押して、「項目名」を選ぶ



■タイトルスクロール方法を設定する

タイトルのスクロール方式を設定します。

初期設定は、「ON」です。

3-2「SCROLL」を選ぶ

3-3 ボリュームノブを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ

- **ON** : 連続的にスクロールします。
- **OFF** : 曲が切り換わるたびに1回スクロールします。

■表示コントラストを調節する

本機の設置角度に合わせて、表示コントラストを調節できます。

初期設定は、「9」です。

3-2「CONTRAST」を選ぶ

3-3 ボリュームノブを回して、コントラストを調節する

- 調整範囲は0～14です。

■夜間のイルミネーションを設定する

車両のイルミスイッチに合わせて、ディスプレイおよびパネル照明を減光することができます。

初期設定は、「3」です。

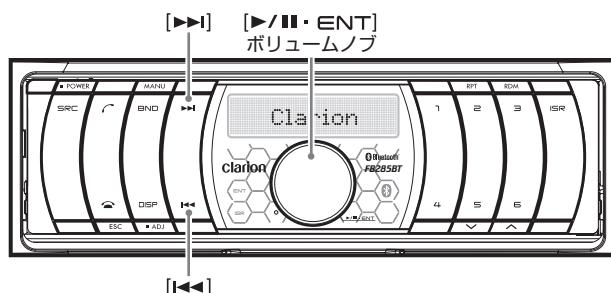
3-2「ILLUM」を選ぶ

3-3 ボリュームノブを回して、イルミネーション表示の明るさを設定する

- 調整範囲は1～9です。

ご注意

- 車両のイルミスイッチが「OFF」の場合は、「N/A」が表示され調整することはできません。



■イルミネーションの色を設定する

初期設定は、「COL. SCAN」です。

3-2「COLOR」を選ぶ

3-3 ボリュームノブを回し表示色を選ぶ

→カラーは以下の順序で変わります。

COL. SCAN↔OFF↔BLUE↔
SURFBLUE↔WHITE↔AQUA↔
GREEN↔LIME↔ORANGE↔RED↔
PINK↔PALEPINK↔VIOLET↔
PURPLE↔USER COL.↔COL.
SCAN...

■ユーザーカラーを設定する

3-2「USER COL.」を選ぶ

3-3 [▶/||・ENT] プレイ/ポーズボタンを押す

3-4 [I◀], [▶I] サーチボタンを押して、R、G、Bを選ぶ

3-5 ボリュームノブを回して、調整する

- 調整範囲は0～8です。

■スクリーンセーバーを設定する

初期設定は、「ON」です。

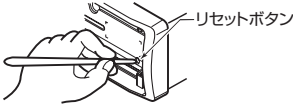
3-2「ANIMATION」を選ぶ

3-3 ボリュームノブを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ

- ON : オープニング時またはソース切り換え時にアニメーションを表示させます。
- OFF : アニメーションを表示しません。

故障かな？と思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

	現 象	原 因	処 置
共 通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプなど接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプなどについて、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	1. 電源をOFFした後、リリースボタンを押してDCPを取り外す。 2. リセットボタンを、細い棒などで約1.5秒間押してください。 
ラ ジ オ	音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作している	音量をもう少し絞ってお聴きください。 電源を再投入することで、音声出力は復帰します。スピーカー保護回路が動作した場合は自動的にボリュームが絞られます。再度、短時間で音が出なくなる場合は最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。

その他

故障かな？と思ったら

	現 象	原 因	処 置
メモリーカード	音が出ない	SDメモリーカードにMP3ファイルが入っていない	MP3ファイルをSDメモリーカードに正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3ファイルとして認識されない	正しくエンコードされたMP3ファイルを使用してください。
	音飛びする ノイズなどが入る	MP3ファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3ファイルを使用してください。
	SDメモリーカードを読み出せない	ファイルシステムフォーマットが正しくない	SDメモリーカードをFAT12またはFAT16としてフォーマットしてください。
		SDに対応していない	SDが対応しているか確認してください。 SDの互換性については最寄りのクラリオン取扱店にご確認ください。
	MP3ファイルが再生されない 一時停止または読み込み中が表示が停止する	MP3ファイルが壊れているか、正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3ファイルを使用してください。

	現 象	原 因	処 置
ブルートゥースオーディオ	電話割り込み後、オーディオストリーミングが切断される	同じ機器（携帯電話機）のオーディオストリーミングと電話機能が動作している場合に起こるオーディオストリーミングは機器/電話機に大きく依存するため、割り込み後に再開されない場合がある	電話割り込み後、電話のA2DP/AVRCP（オーディオストリーミングプロファイル）を再接続してください。Bluetooth®無線技術に対応したクラリオン推奨の外部オーディオプレーヤーを使用してください。
	オーディオストリーミングをリモートコントロールできない	AVRCPが接続されていない	機器を取り外してから、再接続してください。問題が解消しない場合、機器と本機のペアリング情報を削除してから、もう一度ペアリングを実行してください。
	接続された電話機の使用時に、オーディオストリーミングが途切れる	低帯域幅リンクでの過剰なBluetooth®動作 一部の電話機は処理できない	お使いの電話機にこの問題が発生している場合、オーディオストリーミングの実行中は電話の数字キーを操作しないでください。電話を操作する前に、オーディオストリーミングが一時停止することがあります。
	ディスプレイに「STREAMING...」と表示されるが音が出ない	AVRCPに対応していないBluetooth®オーディオ機器があるため、再生/一時停止が同期されない	機器と本機がいずれも再生状態を確認してください。必要に応じて機器の状態を変更してください。それでも問題が解消されない場合、本機または機器の電源を入れ直してください。
		機器間の接続リンクが壊れている可能性がある	機器と本機のペアリング情報を削除し、もう一度ペアリングを実行してください。
	2台の異なる機器を同時に使用した場合、オーディオストリーミングまたはハンズフリー操作が正しく動作しないことがある	低帯域幅リンクでの過剰なBluetooth®動作 2台が同時に使用された場合、一方の機器が他方の機器の通常の動作に影響することがある	両方の機器の接続を切断し、どちらか一方のみ接続してください。

故障かな？と思ったら

	現 象	原 因	処 置
電 話 機	ペアリング後、カー ステレオが電話を 送受信できない	Bluetooth®接続がまだ確立されて いない 通常、ペアリング後に接続が確 立されるまで数秒を要する 電話機によっては、ペアリング後、 自動的に接続しないものがある	お使いの電話機を手動で接続するか、電話 モードに切り換えて自動接続をONにしてく ださい（カーステレオが再接続を開始します）。
			カーステレオの電源を入れ直し、もう一度ペ アリングを実行してください。必ず、機器と 本機の両方のペアリング情報が削除されて から、新しいペアリング操作を開始してくだ さい。
			問題が解消しない場合、最寄りのクラリオン 取扱店にお使いの電話機との互換性を確認 してください。
		カーステレオが他の機器に接続 されている	別の機器を取り外し、使用する機器を接続し てください。
	電話機を使ってカー ステレオに再接 続できない	機器のペアリング情報が本機か ら削除されている可能性がある	本機の機器リストに機器が表示されている か確認し、上記の手順をお試しください。
	発信者の声がひず む、または途切れる	音声が大きすぎ（車内の環境、 スピーカー、マイクによる）、半 二重モードが自動的に起動して いる	電話機の音量を下げてください。
	発信者から音質が 悪いと言われる		内蔵マイクではなく外部マイクを使用してく ださい。外部マイクを口元に近づけてくだ さい。電話機の音量を下げてください。
	オーディオストリー ミングなど別の Bluetooth®機能 を使用中、ペアリン グや電話との接続に 問題が発生する	低帯域幅リンクでの過剰な Bluetooth®動作 ペアリングや接続が困難になる 場合がある	すべての機器を取り外してください。最初に 電話とのペアリングを行い、次にA2DP機器 を接続してください。
	着信を受けても音 が出ない	呼出音が聞こえる前に着信を受 けている 一部の電話機では、音声为正し く本機に転送されない場合がある	通話中の場合は、電話機を使って音声を電 話機に戻してください。次回は呼出音が聞 こえてから、着信を受けてください。問題が 解消されない場合、次の着信の前に、電話を 再接続するか、新しいペアリングを作成して ください。
	会話中に音が聞こ えなくなる	Bluetooth®接続リンクが切断 されている	電話をいったん取り外して再接続してくだ さい。問題が解消されない場合、電話機と本機 の両方で新しいペアリングを作成してくだ さい。
	別のA2DP機器が 接続されているとき、 SDモードで電話の 送受信ができない	低帯域幅リンクでの過剰な Bluetooth®動作 データを本機にストリーミング しているA2DP機器がある	A2DP機器の接続を切断し、携帯電話機（HFP） を再接続してください。機器は1台ずつ接続 し、使用するようにしてください。問題が解 消されない場合、最寄りのクラリオン取扱店 にお使いの電話機の互換性を確認してくだ

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

エラー表示	原 因	対処方法
NO MP3	メディアでオーディオファイル (MP3) が検出されない SDメモリーカードフォーマットがサポートされていない	オーディオコンテンツを読み込んだSDカードと交換してください。エラーメッセージが消えない場合、SDメモリーカードの互換性を確認するか、メモリーカードをFAT12またはFAT16でフォーマットしてください。
SD ERROR	SDを読み出せない SDメモリーカードのフォーマットが壊れているかサポートされていない	フリップダウンパネルを開き、カードをイジェクトしてからもう一度入れてください。エラーメッセージが消えない場合、SDメモリーカードの互換性を確認するか、メモリーカードをFAT12またはFAT16でフォーマットしてください。
CALL FAIL	発信に失敗する	必要に応じて、数回発信してみるか、電話機からダイヤルしてください。
	電話機でボイスダイヤル機能がサポートされていない ボイスダイヤルを起動できない 電話機により異なる	お使いの電話機がこの機能をサポートしているか確認してください。または、最寄りのクラリオン取扱店でボイスダイヤルの対応を確認してください。
ERROR	Bluetooth®通信の低レベルの例外	電話機の再接続が必要になる場合があります (自動接続がオフの場合)、A2DPストリーム/HFPを再接続する必要があります。
STREAM ERR	A2DPストリーム操作時の低レベルの例外 本機とストリーミングソース間の相互運用性の問題	電話機の再接続が必要になる場合があります (自動接続がオフの場合)、A2DPストリーム/HFPを再接続する必要があります。問題が解消されない場合、スイッチをオフにするか、別のA2DPソースを使用する必要があります。

上記以外のエラーが表示されたときは、45ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

■FMチューナー部

受信周波数 : 76.0MHz~90.0MHz
実用感度 : 11dBf
50dBクワイティング感度 : 17dBf
周波数特性 : 30Hz~15kHz $\pm$ 3dB
分離度 : 35dB(1kHz)
高調波ひずみ率 : 0.3%(1kHz)

■SDプレイヤー部(MP3)

周波数特性 : 10Hz~20kHz $\pm$ 3dB
ダイナミックレンジ : 80dB (1kHz)
高調波ひずみ率 : 0.01%
ファイル数 : 最大400
フォルダ数 : 最大255
ファイル名/フォルダ名 : 最大30byte(1byte文字で30文字)
SDフォーマット :
FAT12、FAT16
(MP3ディスク)
MP3デコード : MPEG-1、2 オーディオレイ
ヤー3準拠
サンプリングレート(kHz) :
MPEG-1 : 32, 44.1, 48kHz
MPEG-2 : 16, 22.05, 24kHz
ビットレート(kbps/VBR) :
MPEG-1 : 32~320kbps
MPEG-2 : 8~160kbps

■オーディオ部

定格出力 : 17W $\times$ 4(20Hz~20kHz、1%、4 Ω)
最大出力 : 50W $\times$ 4
適合インピーダンス : 4 Ω (4 Ω ~8 Ω)
トーンコントロール
BASS : $\pm$ 14dB (100Hz)
TREBLE : $\pm$ 14dB (10kHz)

■共通部

電源電圧 : DC12V(10.8V~15.6V)
接地方式 : マイナス接地
消費電流 : 3.0A(1W時)
ヒューズ定格 : 15A
外形寸法 :
178(W) $\times$ 50(H) $\times$ 180(D)mm
[取付寸法 : 154(D)mm]
質量 : 0.85kg

■付属品

- | | |
|----------------------------|----|
| ・取扱説明書 | 1部 |
| ・取付説明書 | 1部 |
| ・修理相談窓口リスト | 1部 |
| ・保証書 | 1部 |
| ・電源コード | 1本 |
| ・セムス六角ボルト | 5本 |
| ・サラネジ(M5 $\times$ 8) | 4本 |
| ・外部マイク | 1式 |
| ・DCPロックスクリュー | 1本 |

*これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

■ラベル表示について・・・

本機が使用する周波数帯域は、ラベルに記載されています。ラベルの見方は次のとおりです。

- 1.) **2.4** : 2.4GHz帯を使用する無線設備を表します。
- 2.) **FH** : 変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- 3.) **1** : 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- 4.)  : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が別途添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証書の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年間保有しています。

■ご質問・ご相談について

本機に関するご質問・ご相談は、最寄りの弊社修理相談窓口または弊社お客様相談室にお問い合わせください。所在地と電話番号は、本機に付属の修理相談窓口リストをご覧ください。

クラリオン株式会社

本社事務所

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7-2

Clarion ホームページ <http://www.clarion.com>

お問い合わせはお客様相談室へ

フリーダイヤル：0120-112-140

(9:00~12:00・13:00~17:30/土・日・祝祭日を除く)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

*お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、
あとで問い合わせされるときに便利です。